

4人の子達 母親がパチンコ中に火遊び・・・ - 西日本防災システム

もう随分以前になるのですが2003年12月12日午後8時30分頃、愛知県名古屋市西区清里町の市営住宅から出火、室内にいた子供4人が病院に運び込まれましたが4人とも一酸化炭素中毒で死亡するという悲しい火災が発生しました。

消防本部によりますと、母親は昼過ぎに買い物に出かけ、帰宅すると、施錠したドアのすき間から煙が出ていたそうです。声をかけたが応答がないため、慌ててドアを開けると、ドアのすぐ内側に4人が折り重なるように倒れており、119番通報したそうです。室内には煙が充満しており、居間のこたつ付近が燃えていたようです。

愛知県警西署と同市消防局は実況見分後、出火元とみられる電気こたつ付近から簡易ライターが見つかったとしています。子供達は日頃からライターで遊ぶことがあったらしく、西署はライターによる火遊びが原因である可能性が高いとしました。

この家のお母さんは自分が留守の際に子供が外に出て事故などが起きるのを防ぐため、玄関に外鍵を付けており、ドアは内側からは開けられない仕組みになっていたことも判明しています。4人は玄関からは逃げ出せない状態だったようです。

調べでは、燃えていたのは玄関に近い和室。4畳半の1畳分がこげていましたが、こたつが置いてあった部分は燃え方が激しく、こたつ天板の中央付近は焼けて穴が開いていました。近くにはライターが落ちていたようです。

死亡した4人の子供達は玄関ドア付近に倒れていました。いずれも外傷がないことなどから死因は一酸化炭素中毒とされました。

調べでは、こたつが置いてあった居間が最も激しく燃えており、付近から簡易ライター3個が見つかりました。兄妹の火遊びが原因となった可能性が高いとみえています。出火当時、4人だけで留守番をしていましたが、お母さんは、県警の調べに対し「午後1時ごろ外出し、近くのスーパーで買い物をしたあと、午後7時ごろまでパチンコをしていた」と話しています。この後、体調を崩していた子供の薬を買い、自宅に戻って、火事に気づいたといいます。

このような辛い 悲しい火災は二度と、絶対に、決して、起こしてはいかんと強く思います。



西日本防災システム
NISHINOHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd
<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ 